

メッセージ

地方メーデー実行委員会 御中

メーデー参加のみなさん

第96回メーデーは、全国47すべての都道府県で5月1日の開催とし、地域メーデーを含め全国で274会場で開催されます。あらゆる仲間が要求を持ち寄ってメーデーに参加することを呼びかけます。また、世論や地域への人々にもメーデーの意義を広めていきましょう。

メーデー参加のみなさん

2025年は治安維持法100年、戦後・被爆80年、男女雇用機会均等法制定40年、阪神・淡路大震災から30年など、平和、人権、いのちと暮らしを見つめ直す大きな節目にあります。

しかし、政府は過去最大となる8兆円もの軍事費を計上し、新たに統合作戦本部を設置するなど日米の軍事一体化をすすめ、事実上、自衛隊が米軍の指揮下に置かれ、米国の戦争に動員される重大な危険が高まっています。能登半島地震被災地では復旧・復興が大幅に遅れ、災害関連死が増え続けていますが、軍事費を突出させる一方で復興関連予算を削り、被災地の願いに背を向けています。トランプ大統領による相互関税の発動は世界経済の不透明感を極度に高めています。

日本における男女の賃金格差は依然70%水準にあります。女性をはじめ多くの国民が貧困にあえいでいます。大手メディアを舞台とした元タレントによる性加害事件は女性に対する前近代的な人権意識が残存する日本の企業体质を露呈させました。政府・財界はメーデーの起源である8時間労働制を根幹から崩し、労働基準法を骨抜きにする労働時間のデロゲーション拡大を企んでいます。

この夏に実施される参議院選挙で、労働者・国民の声を聞かず悪政を進めている自公政権には退陣を求め、いのちと暮らし本位の政治への転換をめざしましょう。

メーデー参加のみなさん

25国民春闘で私たちは、要求の求心力で仲間を増やしながら、すべてのたたかいにジェンダー平等を位置づけ、「対話と学びあい」を徹底的に広げ、ストライキを軸とした当事者のたたかいで要求前進をめざすことのできる「たたかう労働組合のバージョンアップ」を掲げ、旺盛にまた粘り強くたたかってきました。

第96回メーデーを通じて、労働者の直面する困難をすべての働く仲間との連帯の力で打開していきましょう。平和な世界の実現と気候危機の克服に向け、世界のたたかう仲間と強く連帯していきましょう。

働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう！
世界の労働者万歳！メーデー万歳！

2025年5月1日

第96回中央メーデー実行委員会